

鉄人勇者と鉄の怪鳥

—ユーラシアの口承文芸における鉄文化について—

荻原真子（帝京平成大学）

ユーラシアの神話・英雄叙事詩には鉄文化の特徴が多様な形で散見される。一例をあげれば、ユーラシアの周縁地域では神話や英雄叙事詩の主人公が生身の人間から鉄人として鍛冶屋（シャマン）によって再生される。それと対照的に、東シベリアのサハ（ヤクート）では、鉄は英雄や勇者よりは、その敵対者の属性として顕われる。例えば、アヴァーヒは地下界から出現して、鉄の猛禽の姿で英雄たちのもとへ襲来する。

ここではユーラシアにおける諸民族の口承文芸のテキストから鉄文化の具体的なイメージを取り上げる。それはこの地域の神話や英雄叙事詩ばかりでなく、民族文化史の研究にとっても何がしかの示唆をなすものと思う。